

研究課題番号	3CN-2202
研究課題名	プラスチック等脱炭素広域循環経済と食品廃棄物地域循環による環境・経済効果の最大化
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	藤井 実

1. 委員の指摘及び提言概要

環境政策への貢献が期待される研究展開であり、LCCN Ready プラントの効果を示すなど順調に進んでいると判断され、おおむね計画通り進捗していると考えられる。本研究における (LC) CN を考える際のバウンダリーや想定する炭素削減の程度をどの様に設定しているのかが見えると、研究成果の評価がより容易になろう。分かり易い原単位の表示により、他所での利用 (引用) が容易になることが期待される。広域回収を想定しているが、広域の範囲を決定するための何らかの判断基準を示していただけると参考になる。熱需要 (特に高熱高圧) を切り口に、静脈側からの炭素と熱 (+ 電気) の動脈側 (ものづくり) への供給という未来の絵姿を解析的に示すことが望まれる。

2. 採点結果

評価ランク : A